

カリスマ保育士 てい先生の スゴ技子育て術

小学校入学まで対象の子育てで、今話題の「カリスマ保育士てい先生の子育てで困ったら、これやってみ！」「カリスマ保育士てい先生の子育て〇×図鑑」ダイヤモンド社刊から、世界一受けたい授業でやっていたことを紹介しましょう。小学校入学までとは言いますが、小学校の子どもでも参考になるのではと思います。

(1) 動画再生に夢中になり、なかなかやめてくれないとき

タイマーをよく使うが、時間の経過を実感しにくいので、突然タイマーが鳴る印象となります。そこで、時間の経過を実感できる砂時計を使います。遊ぶ時間を10分で区切りたいときは、10分砂時計を使って、「砂が全部落ちたら終わりだよ。」と伝えます。砂が落ちたら、「砂がどうなった。砂が全部落ちたらどうするんだった。」と聞きます。

(2) お片付けをするよと言ってもしてくれない等、言うことを聞いてくれないとき

このような場合には、直前の行為をまずほめます。そうすると、こちらの言葉を聞いてくれるようになります。

(3) お着替えするよと言っても、いやだとなかなか着替えてくれないとき

このような子には、質問形式で、2着準備してどちらが着たいかを聞くようにすると、自分で選んだ服なので、着るようになります。

(4) 公園で遊ぶことに夢中になっている子を、遊びをやめて帰らせるには

「置いてっちゃうよ。」「先に帰っちゃうよ。」は逆効果です。「お家に行って、〇〇しようよ。」と、家に帰ったら楽しみがあると思わせます。帰ったら、言ったとおり遊んであげてくださいね。

(5) 注意されてすねた状態の子を前向きにするとき

この場合は、昔撮った楽しい動画を見せるとすぐに笑顔になります。動画がないときは、よかったことをメモにして貼っておき、それを読み返すようにします。

(6) 電車の中で動いたり、足をばたばたしたり、じっとしていない子

子どもの体を触って刺激を与えてやりましょう。プラプラモミモミ体操。手をもって、腕をプラプラさせます。また、腕をモミモミすると、刺激が入って落ち着きます。

(7) 行動をほめるとき

その子がやった行動をそのまま言葉にしてあげましょう。お片付けができた子には、「いい子だね。」より、「お片付けできたね。」、ご飯を全部食べたときには、「ご飯を残さず食べていい子だね。」より、「ご飯食べたね。」と、行動をそのまま言葉にしてあげるだけで効果があるそうです。

参考：世界一受けたい授業 保育士てい先生